



# 松原市・多職種による “認知症”学び合いの場 令和7年度報告・交流会



令和8年2月18日(水)  
19:00~19:30 WEB同時開催

# 本日のタイムスケジュール(第一部)

時 間	(所要時間)	内 容
19:00~	(5分)	本日の流れの説明
19:05~ 19:15	(10分)	令和7年度の取組み報告 報告者:松原市医師会 医療コーディネーター 山口
19:15~ 19:30	(15分)	李 利彦先生にご質問コーナー ~この機会に、なんでも聞いちゃおう(*'▽')/~ フリートーク
		参加者、主催者からのお知らせ など

# 令和7年度(第63～70回)開催の詳細

開催回数	9回(講演会、報告会・交流会開催)
参加人数	合計176名(2月の報告・交流会含まず)
開催方法	来館・WEBのハイブリットにて開催
開催内容	講演会1回×2、事例検討会2回×2、 認知症例を用いての意見交換会1回×2、 報告・交流会1回

# 令和7年度(第63回～70回の経過)

回	日時	内容	事例提供者	開催方法 参加者
第63回	5月14(水) 14:00～15:30	★講演会「認知症の薬物療法について」 講師:李クリニック 李 利彦先生 スタッフ 4名		来館者 18名 WEB 21名
第64回	6月25日(水) 19:00～20:30	★講演会「認知症の薬物療法について」 講師:李クリニック 李 利彦先生 スタッフ 4名		来館者 5名 WEB 7名
第65回	7月9日(水) 14:00～15:30	【事例検討】 「事例のその後って気になりますか？」 スタッフ 5名	棚橋 鳥倉	来館者 9名 WEB 6名
第66回	9月 17日(水) 19:00～20:30	【事例検討】 「事例のその後って気になりますか？」 スタッフ 4名	棚橋 鳥倉	来館者 4名 WEB 4名
第67回	10月8日(水) 14:00～15:30	【事例検討】 「住職と監査役に就きながらの妻の介護について」 スタッフ 4名	青木	来館者 5名 WEB 7名
第68回	11月19日(水) 19:00～20:30	【事例検討】 「住職と監査役に就きながらの妻の介護について」 スタッフ 3名	青木	来館者 6名 WEB 4名
第69回	12月 10日(水) 14:00～15:30	【認知症例を用いての意見交換会】 「夫婦ともに認知機能低下があり医療にも介護保険にもつながっていない ～妻の保清に課題ありケース」～ スタッフ 4名	佐伯	来館者 8名 WEB 1名
第70回	R8年1月21(水) 19:00～20:30	【認知症例を用いての意見交換会】 「夫婦ともに認知機能低下があり医療にも介護保険にもつながっていない～妻の保清に課題ありケース」～ スタッフ 4名	佐伯	来館者 3名 WEB 4名
	R8年2月18日(水) 19:00～	<u>報告・交流会</u> スタッフ 32名		計 144名 (昨年名 124名)

## 第63回（5/14）・第64回（6/25）の内容

講義：「認知症の薬物療法について」

講師：李クリニック 李 利彦先生

### ★参加者の感想・意見★

- 病態から患者の症状や行動までを詳しく学ぶ事ができた。
- 薬で良くならない認知症に対して、何ができるのか考えるきっかけになった。
- 医師の視点での認知症の方へのアプローチについての考えを学び勉強になった。
- 認知症のメカニズムが学べたので大変面白かった。
- 病気や症状に対しての薬剤の選択の重要性が良く理解できた。

### ★キーワード★

- 認知症と一言で言っても、原因疾患によりそれぞれ異なる治療法や対応方法がある。
- 薬剤を投与する前に、BPSD（認知症の行動・心理症状）の原因をしっかりと理解し、まずは対応することが大切。

## 第65回（7/9）・第66回（9/17）の内容

事例検討会：「事例のその後って気になりませんか？気になりますよね？」

事例①ネグレクトの恐れになるケース

事例②家族が危機感を持っていないケース

### ★参加者の感想・意見★

- ・自分では気づかないような対応方法や意見を聞くことができ、勉強になった。
- ・事例①で利用者とケアマネは契約のもとに平等で、傾聴だけでなく「怒る」の表現があってもいいと思えた自分と、視点がまた違い別の考えを学べた。
- ・ケースを掘り下げることで、こういった対応でどのような結果を知れたのか、今後携わる場合にどんな対応をすればいいのかの一つ一つのお手本になったと感じた。

### ★李先生よりの講評★

- ・認知機能低下にて何事も難しいと判断される場合は、100点を目指すのではなく、60点でも良いと下げて伝える・求める。プロ側が相手の状況を判断する。

## 第67回（10/8）・第68回（11/19）の内容

事例検討会：「住職と監査役に就きながらの妻の介護について」

### ★参加者の感想・意見★

- 虐待してしまう側の原因や思いを共有し、行政に相談することに負担を感じず、一人で悩まず考え込まないことが大切と学んだ。
- 高齢者虐待は、虐待された方を守るのが優先だと思っていたが、介護や支援している側を守ることも大切であると学んだ。また、ご家族へ労いの言葉をかけることの重要性も理解できた。
- ショートステイなどを試し、ある程度の期間を緊急的に本人と家族を離すことも必要であると感じた。

### ★李先生よりの講評★

- 住職が妻の介護を…これはなかなかできるものではない。第三者的には虐待に見えるかもしれないが、実際には違ったりすることもある。何が虐待になるかをしっかり見極めることが大切。また、行政に訴えることで専門職の介入も可能となる。

## 第69回（12/10）・第70回（1/21）の内容

### 認知症例を用いての意見交換会

テーマ：「夫婦ともに認知機能低下があり、医療にも介護保険にもつながっていない～妻の保清に課題があるケース～」

#### ★参加者の感想・意見★

- ・夫は妻の体調不良には敏感、また家族が手伝った時には対応が良い、このどこかに介入の糸口があるように思う。
- ・夫は困っていない、娘は困っている、本人は夫の言う事は聞くが…困っているの認識がない。要はご主人に、周囲が困っていることに気付いてもらう必要がある。また、ご主人が妻の保清をどう捉えているかを明らかにすることも必要。

#### ★李先生よりの講評★

- ・ご主人には、妻と自分の生活を10年頑張ってきたことをしっかり労い褒める。
- ・本人への医療的な評価と、もしご主人が倒れたら（過去に痙攣発作あり）どうしますか？などの事を盛り込みながら施設見学等に繋げられたら良い。
- ・本人たちと外部支援者の思いや意見が合致するところから介入していく。

# アンケート回収率(Googleアンケート)

14:00~		19:00~	
5/14	38%	6/25	66%
7/9	38%	9/17	50%
10/8	30%	11/19	66%
12/10	22%	1/21	71%

アンケート結果は、今後どのような内容の研修を開催したら地域の皆様のお役に立てるのか？  
を考えるにあたっての、とても参考になる生の声です！  
今後も、ご記入・返信を宜しくお願いいたします 😊

今年度もお忙しい中  
ご参加いただきありがとうございました。

新年度も引き続き  
たくさんの方との学びを深められますよう  
どうぞよろしくお願ひします。

